



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社 キッツ

上場取引所 東

コード番号 6498 URL <http://www.kitz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川口 忠昭

TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,088	13.1	1,504	38.4	1,400	36.1	655	118.9
23年3月期第1四半期	24,830	14.0	1,086	△2.5	1,028	4.8	299	△4.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 909百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.00	—
23年3月期第1四半期	2.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	99,553	53,896	53.2
23年3月期	100,138	53,433	52.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 52,994百万円 23年3月期 52,524百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.50	—	4.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,000	9.1	3,100	10.8	2,800	8.1	1,500	14.2	13.73
通期	112,000	5.6	6,600	4.1	6,000	1.2	3,200	4.5	29.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	120,396,511 株	23年3月期	120,396,511 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	11,172,616 株	23年3月期	11,172,386 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	109,224,055 株	23年3月期1Q	113,066,641 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ生産活動がサプライチェーンの復旧により回復をみせる中、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きが見られる一方、電力供給の制約や原材料及び原油価格高騰、為替の円高など不安要因もありますが、年度後半からの復興需要による回復が期待されるところとなりました。海外経済については、アジア諸国は堅調な成長を継続しておりますが、米国の景気の回復の遅れや欧州の財政問題等、先行き不透明な状況であります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間は、バルブ事業において国内市場、海外市場ともに増収となった他、伸銅品事業においても増収となった結果、売上高は前年同期比13.1%増の280億88百万円となりました。損益面では、営業利益は、材料費の上昇に加え、為替が円高で推移したことなどはありましたが、売上高が増加したことにより、前年同期比38.4%増の15億4百万円、経常利益は、前年同期比36.1%増の14億円となりました。四半期純利益につきましては、特別損失が減少したことから、前年同期比118.9%増の6億55百万円と大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内向けについては、東日本大震災のサプライチェーンの障害による入荷不安や復興に伴う需要などの想定もあり、一部のバルブが増加するとともに、半導体製造設備向けも増収となり、海外市場においても、北米向けが大幅な回復をみせ、さらにアジア向けも増加したことにより、前年同期比15.3%増の201億65百万円となりました。営業利益は、材料費の上昇や円高による国内生産品の価格への影響に加え、IT関係費用、海外拠点費用などありましたが、売上が堅調に推移したこともあり前年同期比29.3%増の20億58百万円となりました。

#### ② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、需要増に伴う販売量の増加により、前年同期比16.7%増の57億87百万円となりました。営業利益は、売上高の増加もあり工場稼働率は高い水準で維持したものの、販売価格の低下もあり、前年同期比27.7%減の1億24百万円となりました。

#### ③ その他

その他の外部売上高は、フィットネス事業において東日本大震災により被災し営業停止した仙台及び水戸の2店舗が6月から営業再開となり、また、ホテル事業において団体予約の大量キャンセルが発生し、前年同期比10.3%減の21億35百万円となりましたが、営業利益は、フィットネス事業における不採算店舗の撤退等による経費節減により前年同期比76.5%増の42百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、増収に伴う売上債権の増加や棚卸資産の増加などがありましたが、有利子負債の返済及び法人税等の納付などの支出による現預金の減少もあり、前連結会計年度末に比べ5億84百万円減少し995億53百万円となりました。負債につきましては、有利子負債の返済や法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べ10億47百万円減少し456億57百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払による利益剰余金の減少はありましたが、当第1四半期の純利益6億55百万円に加え、為替換算調整勘定のマイナス幅の減少により、前連結会計年度末に比べ4億62百万円増加し538億96百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ40億29百万円減の86億78百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は13億72百万円、また減価償却費は7億24百万円となりましたが、売上債権の増加額18億16百万円やたな卸資産の増加額13億40百万円のほか、法人税等の支払額が11億79百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは18億92百万円の資金の減少（前年同期は8億49百万円の増加）となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に6億42百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは6億78百万円の資金の減少（前年同期は8億23百万円の減少）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金5億円を調達しましたが、一方、長期借入金11億21百万円を返済するとともに、短期借入金を純額で2億52百万円返済し、加えて私募社債2億円の償還を行い、さらに4億36百万円の配当金の支出を行なった結果、財務活動によるキャッシュ・フローは14億99百万円の資金の減少（前年同期は18億46百万円の減少）となりました。

- (注) 1. 当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額25億50百万円の短期借入金に関するコミットメントライン契約を締結しております。当第1四半期連結会計期間末における当該借入金の残高はありません。
2. 当社は、平成22年9月27日に200億円を限度とする社債の発行登録を行い、平成22年12月10日に第2回無担保公募社債60億円（期間5年）を発行しております。なお、この資金は、平成23年10月26日に期限の到来する第1回公募社債60億円の償還に充当する予定です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
税金費用の計算 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,108	9,127
受取手形及び売掛金	22,253	24,164
商品及び製品	4,844	5,686
仕掛品	3,317	3,888
原材料及び貯蔵品	6,118	6,167
その他	2,458	2,655
貸倒引当金	△64	△66
流動資産合計	52,036	51,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,966	12,882
土地	11,221	11,230
その他（純額）	10,839	10,860
有形固定資産合計	35,027	34,973
無形固定資産		
のれん	1,471	1,428
その他	700	702
無形固定資産合計	2,172	2,131
投資その他の資産	10,901	10,826
固定資産合計	48,101	47,930
資産合計	100,138	99,553
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,799	5,902
1年内償還予定の社債	6,958	6,958
短期借入金	1,834	1,685
1年内返済予定の長期借入金	5,691	5,510
未払法人税等	1,233	780
賞与引当金	1,448	1,183
役員賞与引当金	117	38
その他	3,437	4,065
流動負債合計	26,521	26,125
固定負債		
社債	8,888	8,688
長期借入金	6,792	6,367
退職給付引当金	345	344
役員退職慰労引当金	379	350
資産除去債務	416	418
その他	3,362	3,364
固定負債合計	20,184	19,532
負債合計	46,705	45,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	9,430	9,430
利益剰余金	28,901	29,121
自己株式	△3,917	△3,917
株主資本合計	55,622	55,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	840	798
為替換算調整勘定	△3,938	△3,645
その他の包括利益累計額合計	△3,098	△2,846
少数株主持分	908	901
純資産合計	53,433	53,896
負債純資産合計	100,138	99,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	24,830	28,088
売上原価	19,186	21,855
売上総利益	5,643	6,232
販売費及び一般管理費	4,556	4,728
営業利益	1,086	1,504
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	59	72
その他	125	59
営業外収益合計	187	135
営業外費用		
支払利息	116	113
売上割引	60	80
為替差損	50	25
その他	18	20
営業外費用合計	245	239
経常利益	1,028	1,400
特別利益		
有形固定資産売却益	3	0
その他	0	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
有形固定資産除売却損	1	8
会員権評価損	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
災害による損失	—	11
その他	16	0
特別損失合計	411	28
税金等調整前四半期純利益	620	1,372
法人税等	325	712
少数株主損益調整前四半期純利益	294	660
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	4
四半期純利益	299	655

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	294	660
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△348	△42
為替換算調整勘定	97	291
その他の包括利益合計	△250	249
四半期包括利益	44	909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36	907
少数株主に係る四半期包括利益	8	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	620	1,372
減価償却費	735	724
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△364	△265
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6	23
受取利息及び受取配当金	△62	△75
支払利息	116	113
売上債権の増減額 (△は増加)	152	△1,816
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20	△1,340
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△24	△103
仕入債務の増減額 (△は減少)	△139	48
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	117	677
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
その他	△66	△27
小計	1,449	△668
利息及び配当金の受取額	62	75
利息の支払額	△138	△119
法人税等の支払額	△523	△1,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	849	△1,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△572	△642
有形固定資産の売却による収入	13	1
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
その他	△259	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△678
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△218	△252
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△984	△1,121
社債の償還による支出	△200	△200
配当金の支払額	△565	△436
その他	122	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,846	△1,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,826	△4,029
現金及び現金同等物の期首残高	9,746	12,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,919	8,678

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[ セグメント情報 ]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	17,492	4,957	2,380	—	24,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	567	8	△645	—
計	17,561	5,525	2,389	△645	24,830
セグメント利益	1,592	172	23	△701	1,086

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△701百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△704百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、重要な事項はない。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	20,165	5,787	2,135	—	28,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	760	5	△818	—
計	20,217	6,548	2,141	△818	28,088
セグメント利益	2,058	124	42	△720	1,504

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△720百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、重要な事項はない。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。